

# 平成27年大磯町議会

## 12月定例会一般質問（12月8日・9日）

質問議員	質問事項（1日目）	答弁者
1 2番 竹内恵美子議員 (55分) 9:05～10:00	<p><b>1. 平成28年度予算の考え方について</b> 先日、国・県の動向と町の財政収支見通しが町より提出された。平成28年度予算の考え方について問う。</p> <p>(1) 総合計画に基づいた財政計画について (2) 教育施策について (3) 福祉施策について (4) 建設事業について (5) 人事管理について</p>	町長 教育長
2 8番 清田文雄議員 (45分) 10:15～11:00	<p><b>1. 鳥獣対策事業について（特にイノシシ）</b> (1) 現在までの農作物の被害状況は。 (2) 現状の駆除対策及び問題点は。 (3) 今後の事業の進め方は。</p> <p><b>2. ふるさと納税について</b> 今年度より寄付先が5自治体までは減税手続きの確定申告が不要となるなど制度が拡充された影響で、ふるさと納税の寄付額が全国で前年同期比約4倍となっている。 大磯町のふるさと納税に対する取り組みはどのようなものか。</p>	町長  町長
3 1番 坂田よう子議員 (45分) 11:15～12:00	<p><b>1. 大磯町総合教育会議の展望を問う</b> 総合教育会議は、本年4月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が施行され、教育の政治的中立、継続性、安定性を確保し、地方教育行政における責任の明確化や迅速な危機管理体制の構築を、町長と教育委員会が連帯し行うことを目的に開催されている。 現在、本町における教育行政の方針である大磯町教育大綱の策定作業が行われているが、この大綱に沿い、本町の教育行政はいかなる展開を期待されるか。また、運用に関しては、広く町民の協力を得なければならないと考える。町長公約に掲げられた「教育優先の町」を町全体で樹立すべく、大磯町総合教育会議の展望を問う。</p> <p>(1) 大磯町総合教育会議の意義について (2) 大磯町教育大綱の策定について (3) 教育委員会の責務について (4) 社会教育委員会議の責務について (5) 町全体の協力体制について</p>	町長 教育長

<p>4</p> <p>7番 二宮加寿子議員 (60分) 13:00~14:00</p>	<p><b>1. 生活困窮家庭への子どもの学習支援について</b>          日本の子どもの貧困率は最新の2012年調査では16.3%で、6人に1人が貧困状態となっている。先進国で構成するOECD加盟34カ国中10番目の高さとなる。ひとり親家庭に限ると54.6%に上る。          貧困の構造的な問題を解決して連鎖をなくし、すべての子どもたちが自分の将来に希望が持てる社会の実現に向けての生活困窮家庭への子どもの学習支援が必要と思うがどうか。          (1) 大磯町の現状は。          (2) 子どもの学習支援は。          (3) 支援員確保策は。</p> <p><b>2. 全ての子どもが健やかな出発ができる取り組みについて</b>          全ての子どもが健やかな出生を迎えられ、ライフステージごとの医療や保健福祉サービスが重要と考えるがどうか。          (1) 医療・保健・福祉・教育の連携は。          (2) 地域母子保健と育児支援の取り組みは。</p>	<p>町長 教育長</p> <p>町長</p>
<p>5</p> <p>3番 関威國議員 (60分) 14:20~15:20</p>	<p><b>1. さざんか荘大広間にテーブルと椅子を設置し、高齢者等が楽に利用できるように改善できないか</b>          さざんか荘は「町立老人福祉センター」として、36年前の昭和54年5月に開設された。当時、高齢者には畳と座卓と座布団が良いものと考え整備したものと推察する。その後、日常生活の洋式化が急速に進み、トイレの洋式化をはじめテーブルと椅子の時代になった。          馬場町内会は敬老会を「さざんか荘」で毎年開催している。今年は75歳以上の高齢者が71名参加し、町内会役員と民生委員を合わせると約90名で行った。高齢者の多くは膝の関節痛、腰痛等の持病があり、椅子を希望する人がたくさんいたが全員に対応できなかった。          行政は利用者の目線に立って、喜ばれるサービスを提供するのが仕事と考え質問する。          (1) さざんか荘の年間利用者の人数と年齢構成及び主な使用目的は。          (2) アンケート調査でテーブルと椅子の設置要望はないのか。          (3) 平成28年度に予算化して設置できないか。</p> <p><b>2. 国府橋を整備するための用地取得はいつできるのか、また不動川の堆積土砂の撤去整備内容を問う</b>          (1) 国府橋の整備は用地取得ができ次第着工すると、1年前の一般質問に答えたが、遅れに遅れ一向に進展しない。          最近では異常気象でゲリラ豪雨になり不動川の氾濫や、老朽化した国府橋が大地震で崩落するのではと住民は心配している。橋が通れなくなると、指定避難所の国府小学校に行くのが困難になる。災害が発生した場合、河川と橋の整備事業を何年も遅らせてきた町の責任が問われる。この現状を真摯に受け止め、防災対策推進のため町の幹部は用地取得に全力で取り組み、国府橋の整備を早期に着工できないか。          (2) 不動川の洪水対策として堆積土砂の撤去工事が11月から着手したが、工事の内容について問う。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p>

<p>6</p> <p>5番 三澤 龍夫議員 (30分) 15:40~16:10</p>	<p><b>1. 郷土資料館リニューアルについて</b> 9月議会でリニューアル工事請負契約が可決されているが、その工事の細かい内容と、郷土資料館の分館と位置づけられる旧吉田茂邸について問う。</p>	<p>町 長 教育長</p>
<p>7</p> <p>9番 玉虫志保実議員 (40分) 16:10~16:50</p>	<p><b>1. キラキラおおいそプレミアム商品券について</b> (1) 地方創生交付金をなぜ商品券にしようと考えたのか。 (2) 販売方法等は妥当だったのか。 (3) 商品券によって町が活性化した実感はあるか。今後の活性化につながるきっかけはつかめそうか。</p> <p><b>2. 大磯駅前用地利活用について</b> 大磯駅前自転車駐車場整備工事に伴う植栽の考え方は。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p>

質問議員	質問事項(2日目)	答弁者
<p>8 13番 渡辺 順子議員 (90分) 9:00~10:30</p>	<p><b>1. 基金の管理・運用と旧東海道松並木敷整備について</b></p> <p>(1) 基金は特定の目的のために条例の定めにより設置されるが、現在町にある基金はどのような種類に区分されるのか。設置以後の社会状況の変化や今後の町の政策に合わせて整理が必要なものはないか。</p> <p>(2) 平成18年に松並木敷の損害金300万円を公共施設整備基金に積み立てた際、損害金は松並木敷整備計画を策定後、整備の財源に充てると説明を受けており、その後、受け取った損害金は基金に積み立てられていたと思っていた。しかし、雑入として処理されていた。公共施設整備基金の管理・運用はどうなっているのか。 損害金を払った関係者や地元に対して松並木敷の整備に関してどのような周知をされているのか。</p> <p><b>2. 町民が安心して暮らせるまちづくりの基本、情報の公開と共有について</b></p> <p>(1) 町の最高規範である自治基本条例の見直しを行うために町民委員会が設置されたが、委員会が有効に機能するためには委員への正しい情報提供が不可欠であると考え。メンバーの選出方法と構成、課題の抽出はどのように行ったか。</p> <p>(2) まちづくり基本計画改訂のパブリックコメントで町民からどのような意見があったか。また、その対応について伺う。</p> <p>(3) 町が期限までに施設退去するよう申し入れを行ったことで、関係者の不安が募っている。町は、横溝千鶴子記念障害福祉センターの「公正・平等の使用」について、「かたつむりの家」の家族会や身体障害者福祉協会の方々、その他関係者と丁寧に向き合って話し合う必要があるのではないか。</p> <p><b>3. 地方分権は後退しないか</b></p> <p>国の「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、国の総合戦略を考慮した大磯町人口ビジョン総合戦略の策定が進んでいる。これは国から県、県から市町村というトップダウン形式であり、財源である交付金配分の決定権限を握るのは国という集権体制で、地方分権に逆行している感がある。同時に、第四次総合計画後期基本計画の策定、まちづくり基本計画改訂など、大磯町の5年後を見据えた計画が3つもある。屋上屋を重ねているようだ。交付金頼みのトップダウン計画で町は創生できるのか。地域の課題に向き合い、生活者の幸せの目線に立って町の将来を考えるのが自治体の取るべき対応ではないか。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p>



<p>1 1 1 2 番 鈴木 京子議員 (90 分) 14:50~16:20</p>	<p><b>1. 来年度予算編成の考え方を問う</b> 来年度の予算編成の方針が示されたが、総計予算主義、財源不足の補い方、重点項目、福祉（特に障がい者支援）・教育・第2子以降の保育料無料化の考え方について問う。合わせて住民要望や議会の指摘についてどう対応するのか伺う。</p> <p><b>2. 町長の政治判断の基準を問う</b> 新聞に掲載される「町長の動向」の公表基準は、町民と面会したことを公表しない理由は何か。町長が個人的に面談を申し込む際、何を基準にしているか伺う。葬儀場（既存不適格）と町道幹 16 号線（町長のブログ・瞬間ゆわかしき）の認識を問う。</p> <p><b>3. 恒道会の特養ベッド数確保をどう図るか</b> 直近の空ベッド数は 150 床中 19 床と聞く。理事長によるとデイサービスの移転は建物の老朽化による入所者の安全確保のためということだった。早急な利用率アップと長期的なベッド数確保のためにどう対処するのか問う。</p> <p><b>4. イノシシ・のら猫の対策は十分か</b> (1) イノシシの被害が増える一方で捕獲頭数が減っていると聞く。捕獲だけでは不十分と承知しているが、対策は進んでいるか。 (2) 神奈川県は犬猫の殺処分ゼロを達成し、取り組みを強化している。町ものら猫（地域猫）の周知やボランティア育成に力を入れるべきと考えるが、どうか。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>
---	--	---

1 1 名      2 1 問

※時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。